



オーストラリア・デーを祝う会 開催



2024年1月24日、『オーストラリア・デーを祝う会』をANAクラウンプラザホテル広島で開催。多くの会員の皆様が出席し、交流を深めました。

ご挨拶

広島日豪協会 永野正雄会長

まずは1月に発生した能登半島地震で被害に遭われた方々に哀悼の意を表します。昨年は5月に新型コロナウイルス感染症が2類から5類に変わり、G7広島サミットをはじめ対面型のイベントが増えて広島の街も賑やかさを取り戻したように思います。インバウンドの面で昨年1年間で振り返ると円安も追い風となり、海外からの観光客が大変増えていきます。日本で消費した金額の多さを国別で見ると、1番がスペイン、2番目はオーストラリアです。観光客数で見るとアメリカに次いで多いのはオーストラリアで、インバウンドの面でも大変重要な国であることは間違い無く、広島日豪協会としても観光のみならず食文化など、様々な面で更なるアピールをしていきたいと思えます。



乾杯のご挨拶

在大阪オーストラリア総領事館 トレバー・ホロウェイ総領事



オーストラリア・デーは、過去・現在・未来を振り返り、私達はどこにいたのか、これからどこに行くのかを考える機会であり、オーストラリアではお互いに耳を傾け、意見を尊重し合う日でもあります。私達にとってもインバウンドはとても大切なトピックで、日本へのオーストラリアの旅行者が増えて、昨年10月には7万人近く来訪しました。広島にも多くの観光客が訪れており、西日本では「大阪・京都・広島」が人気のようです。これから日豪関係がますますの友好発展となるよう、心よりお祈りしております。





マクラレン温子さん

今回は、サザンクロス大学のマクラレン温子（たづこ）さんが広島を訪れ、久しぶりに会に出席されました。

マクラレンさんが携わるサザンクロス

大学のジャパンセンターには、日豪友好の懸け橋となったトニー・グリーン神父の記念館があり、記念館ができてから今年で20周年を迎えます。今年8月には記念のイベントを行うので、ぜひ多くの方に訪れてほしいとご挨拶がありました。（*会報3～4ページにてご紹介）



ピアノデュオ『セセディーユ』の青山佳子さんと富永やよいさん。オーストラリアゆかりの曲を演奏してくださいました♪

新入会員ご挨拶



シャイア・エドワードさん



内藤善幹さん

テレビ新広島からのお知らせ

(株)テレビ新広島 事業開発部 中村元気

広島日豪協会を運営するテレビ新広島では、このたび総務省の事業として広島県廿日市市の観光PR動画を、オーストラリア・ニュージーランド地域に配信しています。会では観光PR動画のお披露目と紹介がありました。

* 廿日市市・宮島の魅力を動画でぜひご覧ください！ <https://x.gd/la327>

閉会のご挨拶

広島日豪協会 工藤秀俊 副会長（マツダ㈱ 常務執行役員）



今回は、マーケットシェアが高いオーストラリアとマツダとの関係をお話したいと思います。マツダはオーストラリアで64年前に事業を始めており、これまで290万台もの車を購入いただいています。オーストラリアには全国で147のディーラーがあり、マツダフラッグに強いパッションを持っていただい大変良好な関係を築いています。昨年のビジネスでは消費者マーケットの冷え込みもあり厳しかったのですが、結果として10万台以上販売し、国内2番目に販売台数が大きな自動車ブランドとしての地位をキープすることができました。このオーストラリア・デーでは多くの皆様にご挨拶をありがとうございました。このオーストラリア・デーでは多くの皆様にご挨拶をありがとうございました。



オーストラリア便り

サザンクロス大学

マクラレン温子



日本から美しい風景が送られてきて、旅愁をそそられる。

さて、来年は終戦記念の80周年にあたる。終戦前1944年8月5日にオーストラリアの内陸の街カウラで起こった出来事『カウラ日本人収容所集団脱出事件』についてお話ししたい。

戦時中の日本軍には、捕虜になるのは“生きて、虜囚の辱めを受けず”という戦陣訓があった。中国や東南アジア、オーストラリアにも進軍してきた日本軍は、各地に日本軍の兵隊が散らばり、又、以前からオーストラリアに住んでいた日本人も集められて、キャンベラからずっと内陸のカウラという町に、日本人やドイツ人、イタリア人の収容所が設けられた。この収容所は国際協定に基づき、野外グラウンドで野球もできるような恵まれた環境だったにもかかわらず、班のリーダーがこの慮囚の辱めを言い出し、皆を脱走に誘った時には、多くの兵隊は心の中で脱出するのを躊躇する気持ちがあったという。一見美談のようだが、実際にその脱出の夜、正直に自害を図ったのは若い兵隊たちで、脱走を言いだした兵隊は生き残ったという驚きの事実も当時の兵隊の手で本になった。非常に複雑で、悲しい歴史の一齣である。

脱出した若い兵隊たちがカウラの地元の家の納屋などに隠れていて、その家の主人が可哀そうに思いかまったり食べ物あげたりと、沢山の市民との友情物語も生まれた。1000人以上が脱出、200人以上が亡くなるという悲劇であったが、この事件はあまり当時のオーストラリアの新聞にも取り上げられなかった。

ここリズモア出身で、奈良で日本復興のため活躍された故トニー・グリーン神父が、カウラに日本人の墓を作る運動に大きく関わり、その後日本政府の補助金で立派な日本庭園も出来た。神父はこの日本人墓地に、宗教を超えたクリスチャンと仏教の合同追悼式も挙行。奈良から沢山の友人の僧侶を招いた。

そのため、今年の8月4日、5日に行われるカウラでの80周年追悼式式典には、奈良の日豪友好の人達が招かれており、奈良西大寺の辻村泰範師、奈良の国会議員や、高校生のときに奈良の教会でトニー・グリーン神父と出合い、クリスチャンになられたという千本俵生教授夫妻なども追悼式に参加される。奈良のソプラノ歌手で、トニー・グリーン神父の友人の荒井敦子氏もこの追悼式に参加。カウラの子供達と日本の歌“故郷”などを歌う予定である。

この奈良のグループが、リズモア出身で、戦後奈良に拠点を置かれた故トニー・グリーン神父にゆかりが深いため、カウラの追悼式の直後に奈良のソプラノ歌手の荒井敦子氏と共に、リズモアのサザンクロス大学にあるトニー・グリーン記念館を8月7日の朝訪問されるとの事で、ジャパンセンターの創立20周年のイベントをこの日の朝に設定することにした。トニー・グリーン神父の感動的なセミドキュメンタリー映画『愛の鉄道』のハイライトの部分に参加者に見ていただいたり、荒井敦子氏の歌、千本教授の講話などを伺う予定である。残念ながら日本は翌週お盆で奈良からの参加者は長居ができずすぐ帰国されるが、遠く異国で眠る兵士たちへの供養は空の上まで届くだろうか。



マネージャーのロンさん

さて、リズモア市に隣接する海辺の街、私の住むパロナの河辺にマリンミュージアムがある。ここには、戦時中の世界中の海軍の戦艦の模型が飾られ、日本の海軍の戦艦も沢山飾られている。

このマネージャー、ロン・クレーパーさんから、日本の船の名前『Yawatamaru Japan』と刻んである石碑を住民から寄付されたので、読んでほしいとの問い合わせが来た。読んでみると船の名前、広島住所、氏名、そして、没年月、戒名なども刻まれていたので墓石と判明した。ロンさんはこの情報に基づき、丁寧に昔の新聞記事をリサーチされたところ、1900年のシドニーの新聞で同じ年月日にシドニー湾に停泊した船から、サーキュラーキーという波止場で、路面電



車からこの日本人が停留場に到着する前に車掌が止めるのを聞かず飛びおり、後ろ向きに倒れ、頭を強く打って頭蓋骨を破壊。近くの病院で亡くなった

(明治33年8月28日没)という記事を見つけた。今この石碑は、パロナのマリンミュージアムの前庭に船の舵や花と共に大事に建立されている。

この日本人(岡崎知次)の住所は広島であるが(広島県佐伯郡深江村)、市制が変わり現在の住所がつきとめられていない。新聞によると家族とお子さ

んがいらしたようだ。この記事を読んだ広島の方から、何か情報が得られ、留守家族にお伝えできたらと願う。遠く、多くの望郷の人達の魂に祈りをささげたい。



マリンミュージアムと
前庭に建つ石碑



アルバムから、以前広島日豪協会メンバーが永野会長の引率でオーストラリア友好旅行をされた時に、カウラの日本人墓地で祈りをささげる永野会長の写真を見つけた。自然が美しく、温かいオーストラリアの人々、広島の皆様、又ゆっくりオーストラリアにお越し頂き、パロナのマリンミュージアムの前庭に大切に設置された広島の方の石碑もご覧いただきたい。

マクラレン温子 秋に向かうオーストラリアから

オーjee会員 入会ご挨拶 / シャイア・エドワードさん

シャイア・エドワードと申します。

私の出身地はパース(西オーストラリア州の都市)で、その州の主要産業は石炭、鉄鉱石、液化天然ガスなど、自然資源の採掘です。また、酪農製品、麦、肉なども生産され、日本へも輸出されています。

広島県に移住してから18年が経ちましたが、生活の中に常に面白いことを見出し、楽しんでいます。最近では、郊外へのサイクリングに興じています。また、広島へ来る知人を宮島や平和公園などへ案内することがあるのですが、自分にも新たな発見があり大変興味深いです。



私は長年にわたり英語教育に従事しており、約13年前に応用言語博士の資格を取得するために帰国しました。その間、移住者や難民に対して英語を教える通信教育も行ってきました。現在は、県内の中高一貫校の英語科で教鞭を執っています。今後、広島に住み続けたいと願っています。どうぞよろしく願いいたします。



オーストラリアの情報 募集中!

日豪の交流に関するニュース、オーストラリアへの旅行記などを募集しています。身近な情報をお寄せください。

会報ひろしま日豪協会

発行日 2024年6月
発行所 広島日豪協会
〒734-8585 広島市南区出汐2-3-19 (関)テレビ新広島 総務部内
☎ 082-256-2200 FAX 082-253-1203 ✉ nichigo@tss-tv.co.jp

